

【参考情報】

1 歳入に関する情報

①「一般会計より受入」の内訳は以下のとおりである。

○ 一般会計より受入

区 分	歳入予算額 (円)	徴収決定済額 (円)	収納済歳入額 (円)	歳入予算額と収納済 歳入額との差 (円)
(項)一般会計より受入				
(目)一般会計より受入	1,702,012,646,000	1,702,012,646,000	1,702,012,646,000	0
基礎年金に要する費用の財源	1,218,576,675,000	1,218,576,675,000	1,218,576,675,000	0
保険料免除期間を有する者に係る老齢基礎年金 に要する費用の財源	94,706,803,000	94,706,803,000	94,706,803,000	0
20歳前障害基礎年金への費用及び福祉年金から 裁定替えされた障害基礎年金・遺族基礎年金の給 付に要する費用の財源	317,998,739,000	317,998,739,000	317,998,739,000	0
旧国民年金の老齢給付費のうちのかさ上げに相 当する額に要する費用の財源	70,730,429,000	70,730,429,000	70,730,429,000	0

②「運用収入」の内訳は以下のとおりである。

○ 運用収入

区 分	歳入予算額 (円)	徴収決定済額 (円)	収納済歳入額 (円)	歳入予算額と収納済 歳入額との差 (円)
(項)運用収入				
(目)預託金利子収入	78,290,749,000	75,751,887,358	75,751,887,358	△ 2,538,861,642
積立金利子収入	78,273,966,000	75,739,061,955	75,739,061,955	△ 2,534,904,045
余裕金利子収入	15,665,000	12,825,403	12,825,403	△ 2,839,597

2. 歳出に関する情報

「国民年金給付費」の内訳は以下のとおりである。

○ 国民年金給付費

区 分	歳出予算額 (円)	支出済歳出額 (円)	不用額 (円)
(項)国民年金給付費			
(目)国民年金給付費	2,041,555,382,000	1,952,710,848,887	88,522,200,113
(再掲)基礎年金勘定からの受入(みなし基礎年金給付財源)による国民年金保険給付費	1,876,340,729,000	1,876,340,728,633	367

3. 一般会計の負担・補助の繰延べに関する情報

平成6年度及び平成7年度の国庫負担繰入特例措置分は、4,454億円である。

【参考情報】

1 歳入に関する情報

①「一般会計より受入」の内訳は以下のとおりである。

○ 一般会計より受入

区 分	歳入予算額 (円)	徴収決定済額 (円)	収納済歳入額 (円)	歳入予算額と収納済 歳入額との差 (円)
(項)一般会計より受入				
(目)一般会計より受入	1,702,012,646,000	1,702,012,646,000	1,702,012,646,000	0
基礎年金に要する費用の財源	1,218,576,675,000	1,218,576,675,000	1,218,576,675,000	0
保険料免除期間を有する者に係る老齢基礎年金 に要する費用の財源	94,706,803,000	94,706,803,000	94,706,803,000	0
20歳前障害基礎年金への費用及び福祉年金から 裁定替えされた障害基礎年金・遺族基礎年金の給 付に要する費用の財源	317,998,739,000	317,998,739,000	317,998,739,000	0
旧国民年金の老齢給付費のうちのかさ上げに相 当する額に要する費用の財源	70,730,429,000	70,730,429,000	70,730,429,000	0

②「運用収入」の内訳は以下のとおりである。

○ 運用収入

区 分	歳入予算額 (円)	徴収決定済額 (円)	収納済歳入額 (円)	歳入予算額と収納済 歳入額との差 (円)
(項)運用収入				
(目)預託金利子収入	78,290,749,000	75,751,887,358	75,751,887,358	△ 2,538,861,642
積立金利子収入	78,273,966,000	75,739,061,955	75,739,061,955	△ 2,534,904,045
余裕金利子収入	15,665,000	12,825,403	12,825,403	△ 2,839,597